

令和 7 年 9 月

天草エアライン株式会社の経営状況を
説明する書類

熊 本 県

目 次

令和 6 年度決算に関する書類

- 1 事業報告・・・・・・・・・・ 1
- 2 収支決算書・・・・・・・・・・ 5
- 3 貸借対照表・・・・・・・・・・ 6

令和 7 年度事業計画に関する書類

- 1 事業計画・・・・・・・・・・ 8
- 2 収支予算書・・・・・・・・・・ 9

令和6年度決算に関する書類

1 事業報告

天草地域は、熊本県の中心地である熊本市からの移動に2時間以上を要するなど、地理的状況が離島地域と類似する条件不利地域である。そのため、平成12年3月から、熊本県、天草市、上天草市、苓北町等が出資をし、天草地域の唯一の高速交通機関として、天草エアラインが運航を開始した。現在、福岡空港、阿蘇くまもと空港及び大阪国際(伊丹)空港に就航しており、地域住民の生活、地域の医師確保を含めた地域のライフラインの一つとして必要不可欠な存在となっている。

当期においても安全運航を第一に、平成30年度から開始した日本エアコミューター株式会社(鹿児島県)と整備業務の管理の受委託により、長期運休の回避や整備品質の一層の向上を通じて、定時性の確保を図り安定運航に努めた。

旅客需要については、福岡・熊本線が緩やかな回復基調にあるものの、コロナ前水準と比較して2割程度減少しており、大阪線についても過去最高となった前期と比較すると4%搭乗率が減少しており、先行きが不透明な状況である。全体的な旅客需要の回復の遅れに加え、燃油・物価高騰の影響により、引き続き厳しい経営状況が続いているが、自社旅行業による地域イベントに合わせた旅行商品の造成、地域おこし協力隊によるPR動画やSNS等での情報発信などを通して誘客・利用促進を図った。

運航状況については、機長の人員減・稼働数減や副操縦士の機長昇格実機訓練、3月18日に発生した機体の被雷による運休等により、運休便が対前期+266便と大きく増加した。また、欠航便も前期と比較して増加し就航率は89.1%(対前期▲1.8p)運航便数は2,970便(対前期▲314便、90.4%)となった。

決算状況については、運航便数減により燃料費等は減少したが、10年目を迎える機体の大きな整備や社員の賃金改定を実施したこと等による費用の増加により経常利益は▲795,320千円(対前期▲183,580千円)となった。また、特別利益として、県と2市1町で協調した経営支援や機材整備費補助金等で881,918千円を計上。

結果、税引前当期純利益は10,084千円、法人税等を差し引いた当期純利益は9,308千円となった。

(参考) 過去5年の利用状況及び決算状況

(単位:人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数 (有償旅客数)	24,028	37,958	51,906	63,843	57,992
利 用 率 (有償搭乗率)	19.3%	25.7%	34.9%	40.5%	40.7%
就 航 率	90.8%	91.1%	87.1%	91.4%	89.6%

(単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な増減理由（令和6年度-令和5年度）
売上高	323,994	497,270	614,945	899,756	837,945	旅客収入▲43,820（有償旅客数約5,800名減）
営業費用	1,086,048	1,380,685	1,542,119	1,530,268	1,653,590	
営業利益	▲762,054	▲883,415	▲927,174	▲630,512	▲815,645	
営業外収入	20,815	2,669	22,282	18,808	20,325	
営業外費用	0	0	15,921	36	0	ヘリコプター事業部でのパイロット養成費用減
経常利益	▲741,239	▲880,746	▲920,813	▲611,740	▲795,320	
特別利益	943,770	980,034	1,080,601	598,137	881,918	補助金収入+283,781
特別損失	5,033	66,849	58,340	0	76,513	固定資産圧縮損等+76,513
法人税・住民税 及び事業税	39,245	9,766	20,578	489	777	
当期純利益	158,252	22,673	80,870	▲14,092	9,308	
繰越利益	▲104,507	▲81,835	▲965	▲15,057	▲5,749	

【会社の概要】

令和7年7月1日現在

1. 会社の名称等

- (1) 商 号 天草エアライン株式会社
- (2) 設立年月日 平成10年10月12日設立登記
- (3) 本店所在地 熊本県天草市五和町城河原1丁目2080番地5
- (4) 開 業 平成12年3月23日

2. 株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 39,920株
- (2) 発行済株式総数 9,980株
- (3) 資本の額 100,000千円
- (4) 株主数 31名

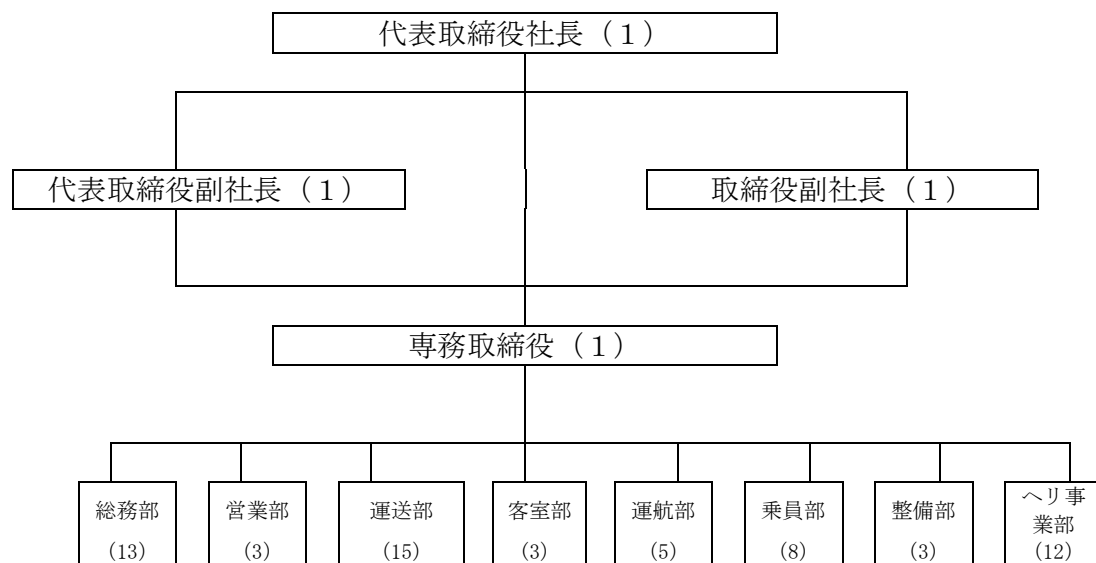
- (5) 株主の状況 (単位：千円)

区分	出資者	出資額	区分	出資者	出資額
自治体	熊本県	266, 000	民間企業・団体	九州電力(株)	20, 000
	天草市	114, 400		(株)肥後銀行	20, 000
	上天草市	13, 600		(株)福岡銀行	10, 000
	苓北町	6, 000		日本航空(株)	10, 000
				天草信用金庫	5, 000
				熊本国際空港(株)	5, 000
				九州産業交通ホールディングス(株)	3, 000
				ほか地元関連 20 企業・団体	26, 000
	小計	400, 000		小計	99, 000
合 計				499, 000	

3. 取締役及び監査役の氏名及び主な職業

職	氏 名	主な職業
代表取締役社長	山西 聡	
代表取締役副社長	馬場 昭治	天草市長
取締役副社長	坂本 弘道	熊本県企画振興部交通政策・統計局長
専務取締役	寺田 宏之	
取締役	堀江 隆臣	上天草市長
取締役	山崎 秀典	苓北町長
取締役	小山 薫堂	放送作家、脚本家、会社社長
取締役	森 敬輔	九州産業交通ホールディングス(株)代表取締役社長
取締役	池崎 一彦	(株) 中村建設代表取締役社長
取締役	山川 秀明	熊本国際空港(株)代表取締役社長
取締役	上村 徹	(株) 熊本銀行取締役専務執行役員
取締役	前出 洋	(株) 肥後銀行取締役常務執行役員
		(1 2 名)
監査役	田中 豊浩	天草信用金庫代表理事理事長
監査役	増田 要一	熊本県天草広域本部長
		(2 名)

4. 組織体制



※日本エアコミューター株式会社（JAC）との整備管理受委託開始に伴い、整備士 5 名が JAC 社へ出向の扱いとされ、総務部付となっている。（出向者は天草基地に配備。）

2 収支決算書

損益計算書		
自	令和5年4月1日	至 令和6年3月31日
(単位：円)		
【営業損益の部】		
[営業収益]		
[売上高]		
	837,945,162	
[営業費用]		
[売上原価]		
燃料費・整備費		777,072,736
事業労務費		347,238,622
事業諸経費		326,339,654
へり収入原価		99,025,179
その他収入原価		2,626,673
売上総利益（損失）		△714,357,702
[販売費及び一般管理費]		
販売費及び一般管理費		101,287,651
営業利益（損失）		△815,645,353
【営業外損益の部】		
[営業外収益]		
受取利息	219,136	
為替差益	10,112	
雑収入	20,096,005	
[営業外費用]		
		0
経常利益（損失）		△795,320,100
[特別利益]		
補助金収入	881,917,500	
補助金圧縮特別勘定取崩益	20,967,946	
[特別損失]		
固定資産除却損	693,062	
固定資産圧縮損	54,852,244	
税引前当期純利益		△10,084,148
法人税、住民税及び事業税		776,500
当期純利益		9,307,648

3 貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	557,095,704	【流動負債】	221,018,727
現金及び預金	347,570,614	短期借入金	0
営業未収入金	33,755,196	未払金	190,380,241
未収入金	107,322,766	前受金	26,673,650
貯蔵品	6,199,996	預り金	2,511,536
前渡金	25,342,554	仮受金	676,800
前払費用	3,500,759	未払法人税等	776,500
立替金	1,173,115		
仮払金	72,000	【引当金】	77,010,574
未収還付法人税等	0	退職給付引当金	53,792,628
未収還付消費税等	32,158,704	役員退職慰労引当金	2,250,000
		国庫補助金圧縮特別勘定	20,967,946
【固定資産】	181,541,904		
(有形固定資産)	(173,593,247)	負債の部合計	298,029,301
建物	14,672,673		
建物付属設備	667,262		
車輛運搬具	2,290,004		
器具及び備品	20,072,679		
構築物	1,661,367		
航空機	134,229,262		
(無形固定資産)	(4,392,857)		
電話加入権	1,747,200		
ソフトウェア	2,645,657		
(投資等)	(3,660,800)		
出資金	200,000		
敷金	111,000		
差入保証金	3,200,000		
預託金	44,800		
【繰延資産】	52,642,666		
開発費	52,642,666		
		純資産の部合計	493,250,973
資産の部合計	791,280,274	負債・純資産の部合計	791,280,274

財産目録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		
科 目	摘 要	金 額
現金及び預金		347,570,614
小 計		347,570,614
営業未収入金	クレジット、旅行代理店等の売掛金等	33,755,196
未収入金	補助金収入等	107,322,766
貯蔵品	GSE（地上支援機材）部品等	6,199,996
前渡金	航空燃料代前払金等	25,342,554
前払費用	航空機機器データベース更新料等	3,500,759
立替金	ヘリ燃料代等	1,173,115
仮払金	出張仮払い等	72,000
未収還付法人税等		0
未収還付消費税等		32,158,704
建物	機材部品整備用施設	14,672,673
建物付属設備	事務所間仕切り等	667,262
車輛運搬具	整備用車両等	2,290,004
器具及び備品	耐火金庫、防犯用ネットワークカメラ等	20,072,679
構築物	熊本空港のリニューアルに伴うアンテナ等構築費	1,661,367
航空機	ATR 残存価格（機体本体は圧縮記帳）、部品	134,229,262
電話加入権	N T T 専用回線（予約・運航等）	1,747,200
ソフトウェア	予約システム改修等	2,645,657
出資金	天草信用金庫、LLP、熊本県旅行業協同組合	200,000
敷金	社宅敷金	111,000
差入保証金	国際航空給油保証金等	3,200,000
預託金	社用車リサイクル預託金	44,800
開発費	コードシェア開発、シミュレーター改修	52,642,666
小 計		443,709,660
資産の部合計		791,280,274

負債の部		
科 目	摘 要	金 額
短期借入金	天草市からの短期借入	0
未払金	整備費用、地上業務委託費等	190,380,241
前受金	クレジット、旅行代理店等	26,673,650
預り金	健康保険料、厚生年金等	2,511,536
仮受金		676,800
未払法人税等		776,500
退職給付引当金		53,792,628
役員退職慰労引当金		2,250,000
計		298,029,301

純資産の部		
資本金		100,000,000
資本準備金		399,000,000
繰越利益剰余金	当期末処分利益（損失）	△5,749,027
	（うち当期純利益）	9,307,648
計		493,250,973

負債・純資産の部合計		791,280,274
------------	--	-------------

令和 7 年度事業計画に関する書類

1 事業計画

(1) 事業方針

令和7年度においても、法令や運航・整備規程等を遵守し、引き続き安全運航を第一に、定時性及び利便性の確保・向上に努めていく。

天草エアラインは、県外からの医師の通勤手段として利用されているなど、天草地域における社会活動、経済活動にとって重要な役割を果たしているが、航空需要がコロナ前水準まで回復できていないことに加え、燃料・物価高騰により費用が増加していることから、昨年度に引き続き、今年度においても厳しい経営状況となる見込みであるため、県や地元自治体等の関係機関と連携し、ポストコロナを踏まえた各種利用促進策を推進する。

併せて、令和7年度に策定する中期経営計画に基づき、今後の経営改善に向けた課題の整理及び各種取組施策を取りまとめ経営体質の改善と経営基盤の強化を図る。

また、EAS Alliance（地域航空サービスアライアンス協議会）を活用し、大手2社や地域航空会社との協業の促進・深化に取り組むことで、地域航空としての持続可能性を高める。

さらに、天草地域の少子高齢化の進行や人口減少といった外的環境の悪化、燃油・物価の高騰や慢性的な人材不足といった航空業界の環境変化など、厳しい経営環境が予測されることから、関係機関と一体となって安定運航の確保及び利用率の向上に向けた取組みを進める。

(2) 事業内容

ア 運航計画

天草～福岡3往復／日、天草～熊本1往復／日、熊本～大阪1往復／日

イ 利用促進

県・地元自治体をはじめ、天草空港利用促進協議会、地元観光協会、企業・団体、県人会等と緊密な連携を図りながら、利用促進活動を行う。

○ビジネス需要喚起

自治体、サポータークラブ企業、株主企業、各種団体等への訪問営業による情報や意見の収集と利用促進

○観光需要喚起

- ・天草空港利用促進協議会等と連携したイベント参加、SNS、動画、メディア等を活用した観光プロモーションで天草観光の情報を発信。
- ・首都圏の大手旅行代理店への商品造成営業、及び既存旅行代理店への新たな提案による商品内容の拡充。
- ・旅行業登録による、地域交流人口の拡大を促すツアーの実施。

○その他

地域のスポーツ大会等との連携・協賛、地域のイベントや新たな取り組みとの連携による交流人口の拡大等、スポーツ、文化・教育分野に関する利用者の需要創出を図っていく。

2 収支予算書

損益計算書

自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日 (単位：円)

【営業損益の部】

[営業収益]		
[売上高]	1,195,539,000	
[営業費用]		
[売上原価]		<u>1,877,040,000</u>
売上総利益（損失）		△681,501,000
[販売費及び一般管理費]		
販売費及び一般管理費		<u>101,427,000</u>
営業利益（損失）		△782,929,000

【営業外損益の部】

[営業外収益]		0
[営業外費用]		<u>0</u>
経常利益（損失）		△782,929,000
[特別利益]		
補助金収入	785,539,000	
特別利益合計	785,539,000	
税引前当期純利益		<u>2,610,000</u>